



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和6年6月25日
学校だより 7月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



先人の知恵に学ぶしなやかさ

学校長 犬塚 真

6月10日、11日の2日間、6年生の子どもたちと日光修学旅行へ行ってきました。この6年生は私が本校に着任した年に入学してきた子どもたちなので、大きな成長を感じる場面が随所であり感慨深いものでした。

初日の午前中に訪れた華嚴の滝は小雨が降っていましたが、昼過ぎには雨も上がり、湯ノ湖ハイキング、湯滝の見学、湯元付近の散策を予定通りに行いました。日光市湯元は標高が1600mを越す場所で、特にハイキングにはうってつけの涼しさと清々しさがありました。湖畔の美しい景色には子どもたちからもたくさんの歓声があがっていました。

2日目は、いろは坂を下って東照宮へ。子どもたちは班行動で見学し、私はチェックポイントの一つである五重塔にいました。この五重塔は1818年に再建されたものですが、地震に強い構造でも知られています。中心にある心柱が懸垂式で地面から浮いていることにより、地震の際は振り子のように動き、重心のバランスを取りながら建物全体の振動を和らげる効果があるのだそうです。また、各層が独立していて、地震の揺れに対して柔軟に応じられる構造になっているともいわれています。

外部からの刺激に対して動じない強固さではなく、あえて揺れることでバランスを保つしなやかさは、私たちの生き方にも取り入れたい先人の知恵なのだと思います。揺るぎ無い信念というのも大切ですが、変化の激しい時代や多様性の時代においては、このような柔軟性も生きる力として大切になっていくのかもしれない。受け止める力と受け流す力の両方がこれまで以上に求められる時代を子どもたちは生き抜いていくのでしょう。そんなことにも思いをはせた修学旅行でした。



◇◆サイバー犯罪等の被害者・加害者にならないために◆◇

先日、定期的に各学校を訪問している磯子警察署生活安全課のスクールサポーターさんと、子どもたちのサイバー犯罪について話をする機会がありました。

コンピュータやインターネット等の情報技術を悪用するサイバー犯罪は年々増加しており、サイバー社会の危険性を知らずにパソコンやスマートフォンから気軽にインターネットやSNSを使っていると、犯罪の被害者や加害者になってしまうことがあるそうです。また、SNSをきっかけとした犯罪は低年齢化しているとのこと。そこで大切になってくるのが保護者による見守りと管理（ペレンタル・コントロール）及び、家庭内でのルールづくりだそうです。

（神奈川県警のホームページ「暮らしの安全情報」内にサイバー犯罪に関する情報があります。）

スマートフォンはたいへん便利な道具ですが、様々なりスクも持ち合わせています。犯罪やトラブルに巻き込まれることもあれば、相手を傷つけるような発言や人権を侵害するような画像の公開で加害の道具になってしまうこともあります。正しく使いこなす技能を習得していかなくてはなりません。

夏休みにはインターネットを使う時間も増えることが考えられます。特にお子様がスマートフォンを所持しているご家庭では、今一度使用状況（どのようなサイトにアクセスしているのか、友達とどのようなやり取りをしているのか等）の確認をするとともに、適切な管理をお願いします。